2017年8月21日

研究責任者 六郷恵哲

アドバイスシートの記入に際してのお願い

このアドバイスシートは，日頃，インフラ構造物の設計・施工・維持管理・研究・発注に関わっておられる技術者の方々に，本日発表させていただいた各新技術に対する忌憚無い意見を記入いただき，新技術の開発責任者にお伝えして，その技術の改良に役立てていただくものです。

アドバイスシートは，各技術に対して２ページの記入となっておりますので，ご協力をお願いします。記入に当たっては，以下の点にご配慮ください。

１．記入者の氏名，メールアドレス

記入内容を確認させて頂く場合に，事務局から連絡を取らせていただきます。

２．第3回報告会における参加者の立場

以下の３種類の立場がありますが，MAあるいはオブザーバーとして，忌憚の無い意見をお聞かせください。

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

３．アドバイスシートの提出

本日の報告会終了時，受付にて回収させていただきますが，記入項目が多いため，資料の内容などを吟味いただき，後日提出していただくのも大歓迎です。

その際には，URL（http://me-unit.net/2017/08/19/no3\_meeting\_report/）から，アドバイスシートをダウンロードしてご記入いただき，以下の事務局までメール提出をお願いします。

　　アドバイスシート提出先：　事務局 大野知子宛　t\_ohno@gifu-u.ac.jp

SIP維持管理技術へのアドバイスシート（第3回報告会）

2017年8月21日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）  ① 橋梁・トンネル打音点検飛行ロボットシステムの研究開発  開発者：西沢俊広（日本電気株式会社） |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等  
E-mail：

第3回報告会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

０．第3回報告会に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 実業務への適用範囲 | 4 | 提案技術への改良提案 |
| 2 | 提案技術の利用についての実務面からの印象 | 5 | 提案技術の別な用途での利用提案 |
| 6 | 提案技術と他の新技術との組合せ提案 |
| 3 | 提案技術が優れていると思った項目 | 7 | 提案技術に対する技術的発展の期待度 |

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
  + 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
  + 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
  + その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】  
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】  
→

８．その他（自由な意見を記入してください）

SIP維持管理技術へのアドバイスシート（第3回報告会時）

2017年8月21日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）  ② 二輪型マルチコプタを用いたジオタグ付近接画像を取得可能な橋梁点検支援ロボットシステムの研究開発　　　　開発者：沢崎直之（富士通） |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等  
E-mail：

第3回報告会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

０．第3回報告会に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 実業務への適用範囲 | 4 | 提案技術への改良提案 |
| 2 | 提案技術の利用についての実務面からの印象 | 5 | 提案技術の別な用途での利用提案 |
| 6 | 提案技術と他の新技術との組合せ提案 |
| 3 | 提案技術が優れていると思った項目 | 7 | 提案技術に対する技術的発展の期待度 |

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
  + 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
  + 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
  + その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】  
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】  
→

８．その他（自由な意見を記入してください）

SIP維持管理技術へのアドバイスシート（第3回報告会）

2017年8月21日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）  ③近接目視・打音検査等を用いた飛行ロボットによる点検システムの研究開発  開発者：和田秀樹（日本非破壊検査） |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等  
E-mail：

第3回報告会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

０．第3回報告会に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 実業務への適用範囲 | 4 | 提案技術への改良提案 |
| 2 | 提案技術の利用についての実務面からの印象 | 5 | 提案技術の別な用途での利用提案 |
| 6 | 提案技術と他の新技術との組合せ提案 |
| 3 | 提案技術が優れていると思った項目 | 7 | 提案技術に対する技術的発展の期待度 |

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
  + 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
  + 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
  + その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】  
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】  
→

８．その他（自由な意見を記入してください）

SIP維持管理技術へのアドバイスシート（第3回報告会）

2017年8月21日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）  ④橋梁点検ロボットカメラ等機器を用いたモニタリングシステムの創生  開発者：藤原保久（三井住友建設） |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等  
E-mail：

第3回報告会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

０．第3回報告会に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 実業務への適用範囲 | 4 | 提案技術への改良提案 |
| 2 | 提案技術の利用についての実務面からの印象 | 5 | 提案技術の別な用途での利用提案 |
| 6 | 提案技術と他の新技術との組合せ提案 |
| 3 | 提案技術が優れていると思った項目 | 7 | 提案技術に対する技術的発展の期待度 |

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
  + 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
  + 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
  + その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】  
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】  
→

８．その他（自由な意見を記入してください）

SIP維持管理技術へのアドバイスシート（第3回報告会）

2017年8月21日

|  |
| --- |
| 研究開発の技術名称（研究責任者）  ⑤橋梁など道路インフラの点検支援システムの研究開発  開発者：加藤 直也（デンソー） |

以下，参加者が各自の意見・アドバイスを記載する。

記入要領 □：選択してチェック

→：理由など記入

記入者の氏名（無記名も可）：

記名の方で，記入内容を確認させて頂く場合の連絡先等  
E-mail：

第3回報告会における参加者の立場

**□** ＭＡ（メンテナンスアドバイザー）：自由に意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

**□** オブザーバー：制約はあるが，意見を述べ，アドバイスシートに記入する。

* 聴講者：意見を述べず，アドバイスシートにも記入しない。

０．第3回報告会に参加して，影響を受けたところ（番号に○印，複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 実業務への適用範囲 | 4 | 提案技術への改良提案 |
| 2 | 提案技術の利用についての実務面からの印象 | 5 | 提案技術の別な用途での利用提案 |
| 6 | 提案技術と他の新技術との組合せ提案 |
| 3 | 提案技術が優れていると思った項目 | 7 | 提案技術に対する技術的発展の期待度 |

１．実業務への適用範囲

* + 提案されている技術のみで，実業務に適用できると思う。
  + 既存技術の一部を補完する要素技術として適用できると思う。
  + 他の要素技術や既存技術との組合せによって利用の可能性は広がると思う。
  + その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．提案技術の利用についての実務面からの印象

* 積極的に利用したいと思う。
* 発注者からの指示であれば利用する。
* 使えない（使いたくない）と思う。

【上記の選定理由】  
→

３．提案技術が優れていると思った項目

既存技術に比べて，提案技術が優れていると思われる項目，機能等

→

４．提案技術への改良提案

岐阜県内での実装に際して，充実させて頂きたい項目，機能等

→

５．提案技術の別な用途での利用提案

開発意図とは異なる方面での利活用ができると思われる項目等

→

６．提案技術と他の新技術との組み合わせの提案

実装に際して他の技術と組み合わせると，更に使いたくなると思うこと等

→

７．提案技術に対する技術的発展の期待度

本技術提案は，インフラ維持管理・更新・マネジメント技術として，システム化されたインフラマネジメントを構築でき，インフラの事故を未然に防ぎ，維持管理やメンテナンスの負担軽減を図ることが期待できますか。

* 大いに期待できると思う。
* 改良等を行なえば期待できると思う。
* 本日の説明だけでは，期待できないと思う。

【上記の選定理由や改良提案など】  
→

８．その他（自由な意見を記入してください）